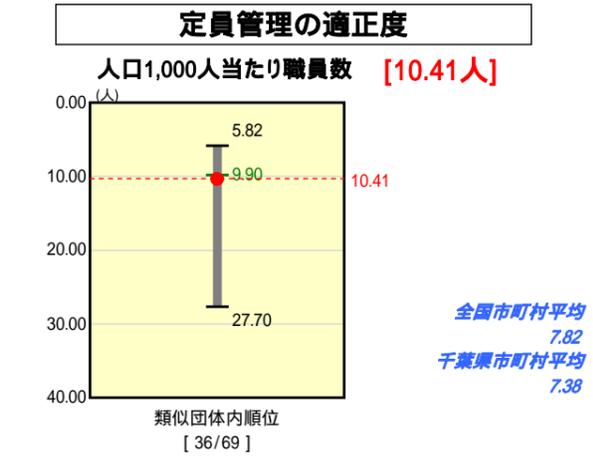
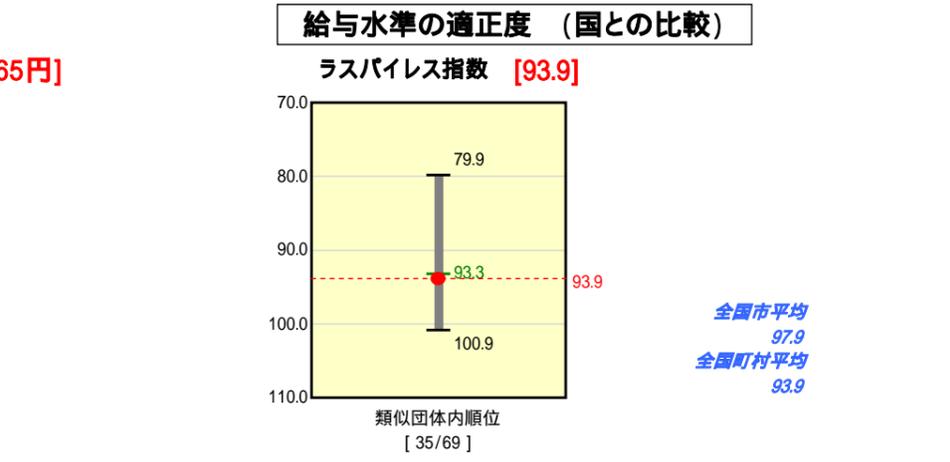
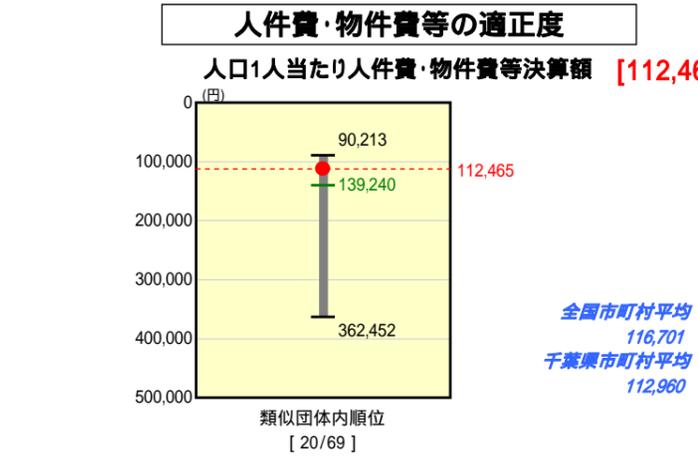
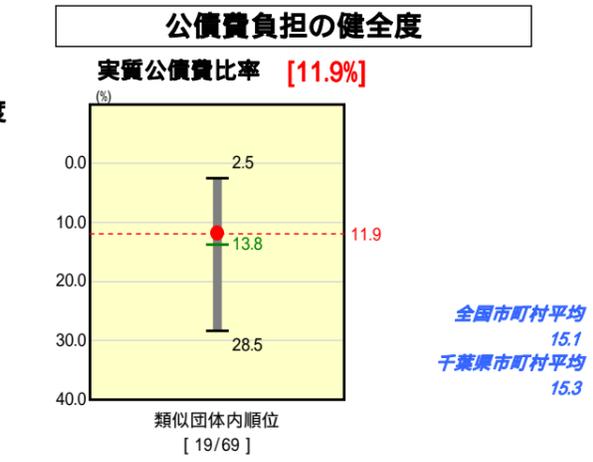
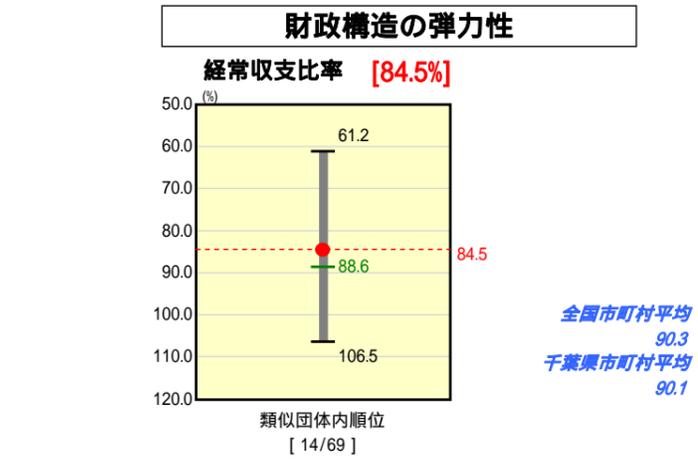
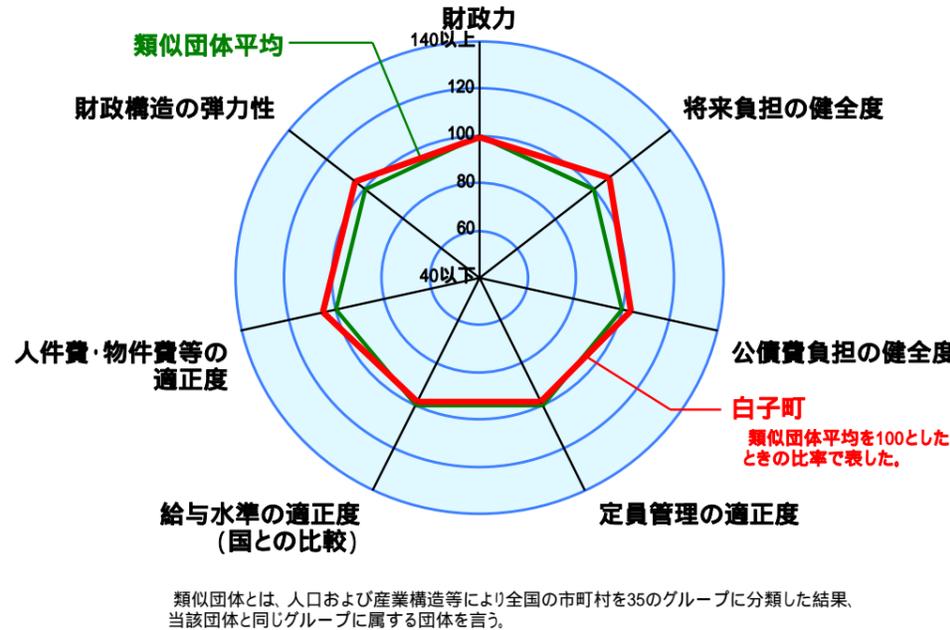
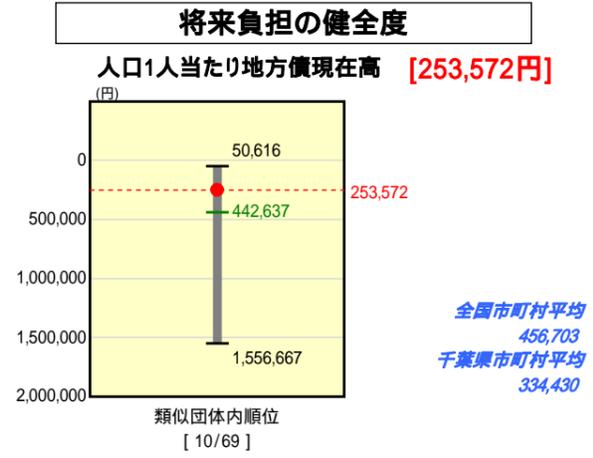
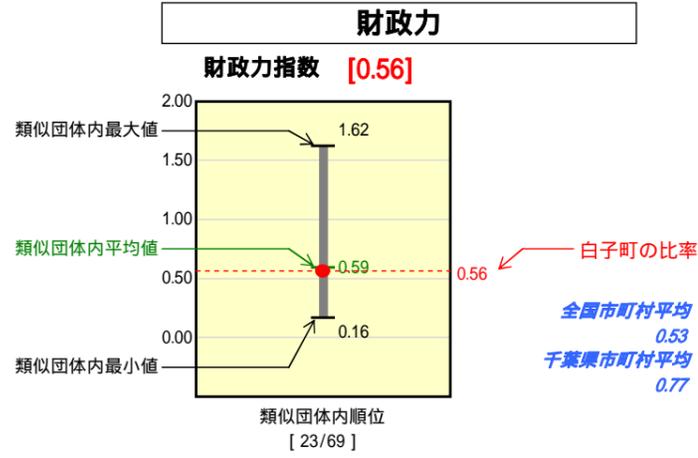


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

千葉県 白子町

人口	13,162 人(H19.3.31現在)
面積	27.46 km ²
歳入総額	3,923,210 千円
歳出総額	3,684,936 千円
実質収支	238,226 千円



分析欄

財政力指数:
類似団体平均0.59を下回っているが、退職者不補充等の定員管理、投資的経費の抑制等歳出の徹底的な見直し、行政の効率化に努めるとともに、地方税の徴収強化等の取り組みを通じて財政の健全化を図る。

経常収支比率:
年々減少傾向にあり、類似団体平均を下回っているが、引き続き新規採用の抑制、給与の適正化による人件費の削減など行財政改革への取り組みを通じて義務的経費の削減に努める。

ラスパイレス指数:
平成18年度から給与の抑制(期末手当5%、管理職手当20%、通勤手当・住居手当30%)を実施。平成21年度までに人件費比率25%を目標とし、今後も給与の適正化に努める。

人口1人当たり地方債現在高:
類似団体平均値を下回っている。今後も適切な地方債管理を行い後世への負担を軽減できるよう努める。

実質公債費比率:
類似団体平均を下回っている。今後も新規発行の抑制に努める。

人口1,000人あたりの職員数:
退職者不補充、民間委託の推進等により定員適正化を図り、平成21年度までに職員の11%(20人)削減の達成を目指す。

人口1人当たりの人件費・物件費等決算額:
類似団体平均と比較して、人件費物件費等の適正度が低くなっている要因として、ゴミ処理業務や消防業務を一部事務組合で行っていることが挙げられる。今後も職員数の削減、給与の適正化、民間委託の推進等により経費の削減を図っていく。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。